

お客様各位

製品リニューアル 生産中止期限 短縮のお知らせ

貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。2016 年 10 月に FC デジタルリンクの製品リニューアルのご案内をさせて頂きましたが、予想以上にユーザー様からのオーダーが増加し、当初予定しておりました生産中止期限を下記のように短縮させて頂くこととなりました。製品リニューアルについてはご迷惑とお手数をお掛けしますが、今後とも何卒力強いご高配とご支援を賜りますようお願い申し上げます。皆様方のご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

また、推奨代替製品については既に販売を開始しておりますので、早めの移行を検討頂きますようお願い致します。

生産中止品一覧

生産中止期限 : 変更前 2018 年 10 月 31 日



変更後 2017 年 11 月 30 日

※いずれも在庫数に限りがある為、期限前に対応できなくなる場合がありますのでご了承ください。

修理受付期限 : 2019 年 10 月 31 日 (生産中止品の修理受付を保証する期限。期限以降についても修理受付は行いますが部品の不足等により修理できない場合があります)

商品名	タイプ	型名	推奨代替製品 リニューアル品	
FC デジタルリンク 送信機	マルチモード ファイバ用	FCT-101M-S	FCT-100MB-S	販売開始済
		FCT-101M-L	FCT-100MB-L	
		FCT-102M-S	FCT-102MB-S	
		FCT-102M-L	FCT-102MB-L	

FCR-100M 及び FCR-102M については現行のまま継続販売を行います。

【旧製品との互換に関して】

○FCT-100MB-S 及び FCT-102MB-S について

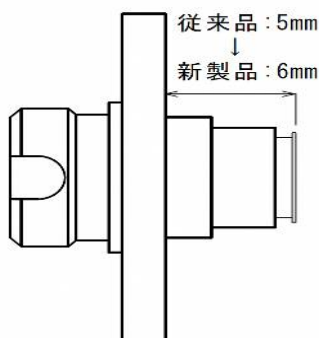
FCT-100MB-S 及び FCT-102MB-S は、FCT-100MB-L 及び FCT-102MB-L とドライブ基板を同梱した商品となっております。受信機側に弊社製 FC デジタルリンク「FCR-100M」及び「FCR-102M」と組み合わせてご使用になれる場合には、従来通りご使用できます。

FCT-100MB-S については、旧製品の FCT-101M-S と比較して発光素子 (FCT-101M-L) の外観が変更となります。下記を参照してください。その他の外観の変更はありません。

【注意点】

付属しているドライブ基板は、従来品 FCT-101M-S 及び FCR-102M-S に付属しているドライブ基板に対し、ドライブ基板内に搭載している抵抗値を変更し、FCT-100MB-L 及び FCT-102MB-L に流れる最大順電流量を 60mA まで下げております。ご使用の際には、旧製品と混ざらぬ様にご注意ください。

尚、FCT-100MB-L 及び FCT-102MB-L に従来品のドライブ基板を使用した場合、約 80mA の最大順電流が製品に流れますので、破損する場合がございます。

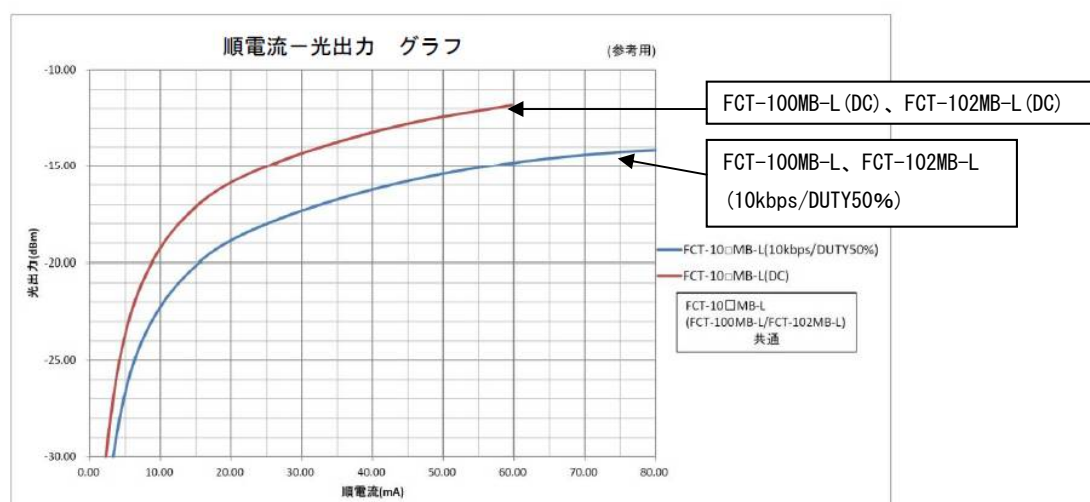
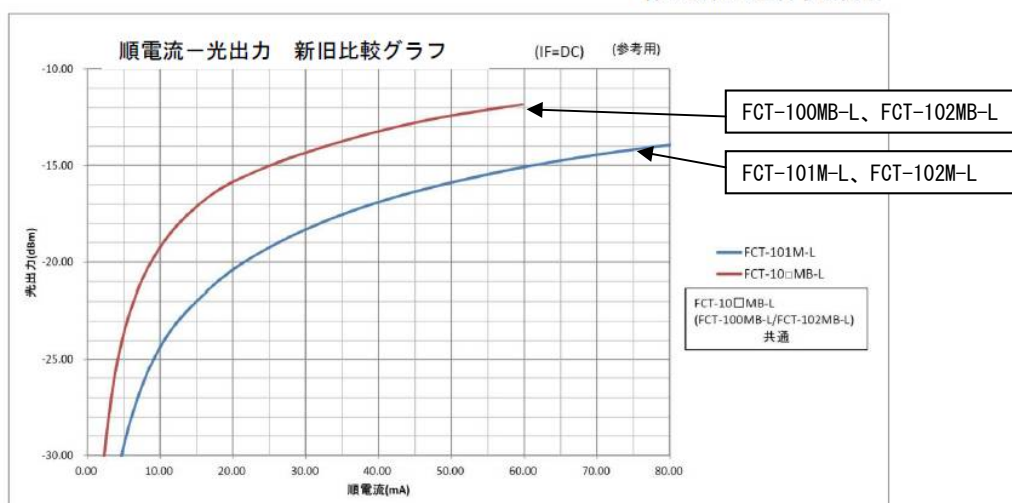


○FCT-100MB-L 及び FCT-102MB-L ついて

	従来品	新製品
型名	FCT-101M-L FCT-102M-L	FCT-100MB-L FCT-102MB-L
最大順電流 (If max)	100mA	60mA
順電圧 (If=50mA 時)	1.9V (typ)	2.0 (typ)
逆電圧 (VR)	3V	変更なし
許容損失 (PD)	150mW	170mW
動作温度	-10°C~+70°C	-30°C~+85°C
光結合出力	-18dBm~-16dBm (GI50/125 使用、If=50mA 時)	-16dBm~-12dBm (GI50/125 使用、If=50mA 時)
アナログ特性 (-6dB)	10MHz	15MHz
ピーク波長	880nm	変更なし
外形寸法	—	FCT-100MB-L : 下記参照 FCT-102MB-L : 変更なし
コメント	<p>① 旧製品に比べて少ない順電流で、高出力が可能な省エネタイプとなります。</p> <p>② 最大順電流が 100mA→60mA に下がります。旧製品からの交換の際には、順電流量にご注意ください。60mA を超えてご使用になると、最悪、破損する可能性があります。</p> <p>③ 受信機側に弊社製 FC デジタルリンク「FCR-100M」及び「FCR-102M」と組み合わせてご使用になられる際には、従来通りご使用できます。</p> <p>④ 旧製品に比べ、発光量が大きくなっており、受光側にて支障をきたす場合には、順電流量を調整し、発光量を減らしてご使用ください。</p> <p>⑤ FCT-100MB-L については、旧製品に比べ、奥行きが約 1mm 長くなります。旧製品より交換される際にはご注意ください。 尚、その他の寸法に変更はございません。</p> <p>⑥ 弊社より開示しております FCT-101M-P 及び FCT-102M-P と同等回路をご使用の方で変更を検討される場合には別途ご相談ください。</p>	
	 <p style="text-align: center;">FCT-100MB-L 変更箇所 ※FC-102MB-L は変更がありません。</p>	

F C デジタルリンク 参考資料

七星科学開発センター
株式会社七星科学研究所



※上記2点のグラフは性能を保証するものではありません。

○受信機 FCR-100M 及び FCR-102M 仕様変更について

F C デジタルリンク送信機FCT-100M-L、FCT-101M-S及びFCT-102M-L、FCT-102M-S の製品リニューアル (2016年10月)において、ファイバ結合光出力(最大)-16dBmから後継機種を-12dBmに変更した為、FCR-100M及びの最大受信光電力(最小)を-16dBmから-12dBmに仕様変更致しました。

元々FCR-100M及びFCR-102Mの最大受信電力は実力的に-12dBmを満たしていましたが、生産中止品との使用を限定する為に仕様を-16dBmに制限しておりました。

今回の送信機の後継機種仕様に合わせ、受信機の仕様-12dBmを保証する仕様変更致しております。

なお、FCR-102Mの最大受信電力-12dBmに関してはロットNO. 170203以降は公証していますが、それ以前のロットについては-12dBmで対応頂いても実仕様として問題ありません。また、保証範囲内であれば、性能保証も対応致します。

ご不明な点・ご質問が御座いましたら下記までご連絡ください

七星科学 開発センター

(株)七星科学研究所

TEL042-950-0123 FAX042-950-0122

E-mail : kaihat-c@nanabosi.co.jp

以上